

沖縄キリスト教短期大学報

那覇市首里当蔵町3-6-1
学校法人 沖縄キリスト教学院
発行人 濑底正一
編集人 学報編集委員会
印刷所 協栄印刷株式会社
電話 33-4853



学長 平 良

創刊号によせて

修

沖縄内での募金状況は、去年の七月一日から、施設設備充実募金委員会を主体に、募金が開始されました。例のドルショック、それに復帰不安も手伝って、沖縄の経済は、非常な悪条件となり、募金をするには、あまりにも悪すぎました。その結果、成績もあまりよくありませんでした。しかし、今後は経済的におちつきをとりもどすと思いますので、全力をあげて募金目標の達成を目指していきます。尚、これまでの実績を報告致します。

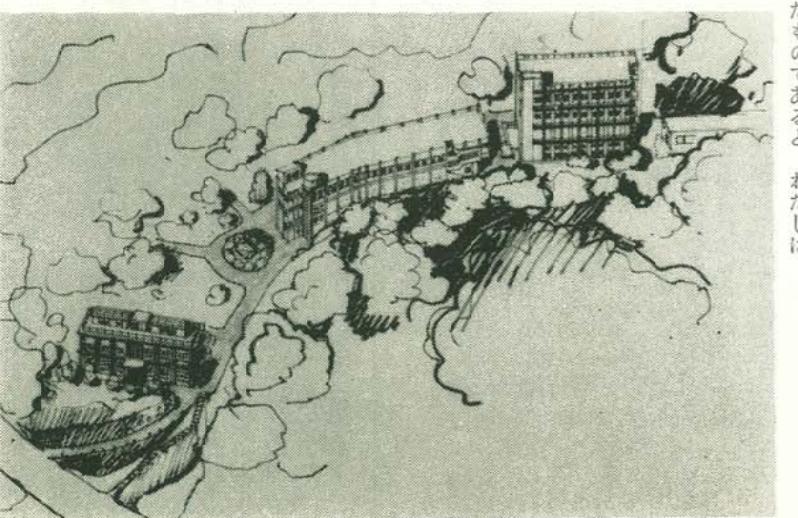
この難題を解決する一つの方法として、基準が軽く、従つて経費もあまりかからない各種学校にならざるを得ないことは本短大にとってある。ところで、基準を満たすに必要な資金およそ一億八千円を調達することは本短大にとってほとんど不可能であることは明らかだった。

この難題を解決する一つの方法として、基準が軽く、従つて経費もあまりかからない各種学校にならざるを得ないことは本短大にとってある。この考えには(1)学生の経済的負担が軽く済むこと、(2)少數教育を維持しやすいこと、(3)学歴偏重の社会にあって、学歴ではなく実力によって生きることを

一九七一年度は沖縄キリスト教短期大学にとつて大きな試練の年であった。沖縄の復帰にともなつて文部省が要求してきた短大設置基準にどう対処したらいいかという課題をめぐつての苦悩の年であった。設置基準六〇%の達成率して文部省が認可することはできないといふのが政府の復帰対策要項だったのである。ところで、基準を満たすに必要な資金およそ一億八千円を調達することは本短大にとってほとんどの不可能であることは明らかだった。

この難題を解決する一つの方法として、基準が軽く、従つて経費もあまりかからない各種学校にならざるを得ないことは本短大にとってある。このひすみを問わない今まで各種学校になろうとするのは責任の経済的負担が軽く済むこと、(2)少數教育を維持しやすいこと、(3)学歴偏重の社会にあって、学歴ではなく実力によって生きることを

改装するキャンパス 完成予想図(中央が新築の3号館)



のすべてをまかなえない以上、政府が国民の税金によって私学を助成することは当然である。私学の存在権、特に戦後二十数年の犠牲のつぐないを日本政府に要求する権利をもつ沖縄の私大としての存続は、公認の短大であり、この既得権を主張することにはわれわれの当然の権利である。同時に、この権利の主張が復帰後の沖縄の地方自治権の行使と

理解している。短大をつぶしてしまうことになるかも知れない不安をつき抜けて、われわれの既得権、存在権としての短大を守り得た、この体験は重い。

この体験の深みの中から本短大は新たな出発をする。短大であることを貫き通したわれわれには負うべき多くの課題がある。その一つつをいにいに片づけていくたい。今日創刊される学報はその一つの業であると言つてよい。この学報は本短大の今後の生きざまの鏡となるだろうからである。

次に、公教育をおこなっているにもかかわらず、何故私大は公立大とは比較にならないほどの経済的重荷を負わなければならないのか、教育行政の欠陥から生じているこのひすみを問わない今まで各種学校になろうとするのは責任の放棄であり、安易な自己保身である。国民がみずから教育権によるこのひすみを問わない今まで各種学校になろうとするのは責任の放棄であり、安易な自己保身である。国民がみずから教育権によつて私学を建て、私学を選択する以上、また公立機関において教育

よしとする青年たちを招き入れることによって、社会に一つの改革の糸口をもたらすことができるのではないか、などの説得力があつた。

しかし結論として、われわれは各種学校ではなく短期大学を選びとる決断をしたのである。その理由の一つは、本短大が琉球政府公認の短大であり、この既得権を主張することにはわれわれの当然の権利であるのみならず、廃墟の中から沖縄の戦後史を樂き上げてきた沖縄の同胞に対する義務ですらあります。詩、隨想、その他、皆さまの御寄稿をお待ちいたしております。(A)

さく岩機とブルドーザーの耳をつんざく轟音の中で創刊号の編集の一端として学報第一号をここに発行できましたことを喜びに思います。

本学報の発行は年間四回とし、第二号を九月に、第三号は十二月第四号を三月の予定でおります。教職員・学生・同窓生、あるいは諸関係方々できるだけ多くの方々のご意見をこの学報の中に反映させて、みのり豊かなものにするよう最善の努力を尽したいと思ひます。詩、隨想、その他、皆さまの御寄稿をお待ちいたしております。御協力よろしくお願ひいたします。(S)

さて、出来ればこちらのとおりですが、次号からは一段と充実したものにしたいと存じます。(S)

さて、みのり豊かなものにするよう最善の努力を尽したいと思ひます。詩、隨想、その他、皆さまの御寄稿をお待ちいたしております。御協力よろしくお願ひいたします。さく岩機とブルドーザーの耳をつんざく轟音の中で創刊号の編集の一端として学報第一号をここに発行できましたことを喜びに思います。

本学報の発行は年間四回とし、第二号を九月に、第三号は十二月第四号を三月の予定でおります。教職員・学生・同窓生、あるいは諸関係方々できるだけ多くの方々のご意見をこの学報の中に反映させて、みのり豊かなものにするよう最善の努力を尽したいと思ひます。詩、隨想、その他、皆さまの御寄稿をお待ちいたしております。御協力よろしくお願ひいたします。(A)

さく岩機とブルドーザーの耳をつんざく轟音の中で創刊号の編集の一端として学報第一号をここに発行できましたことを喜びに思います。

建設の福音ひびく

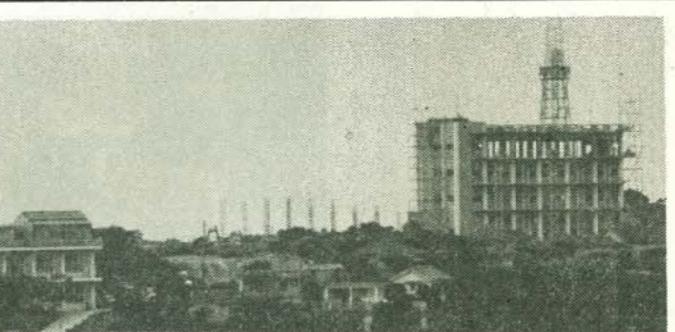
建築状況及び内容

完成は七月中旬頃です。

(一九七二年五月三〇日現在)
1) 本館屋上ブレーハブについて
2) 二号館四階増築について
3) 三号館新築について

は、関係キリスト教団体教会、個人及びキリスト教学校、教育同盟等の御支援・御協力によりまして、多額の御寄附を賜わりました。おかげさまで、教育環境の整備も、前記通り、着々と進んでおり、希望をもって前進することができます。本当に有難うございました。こゝに改めて、御礼と御報告を申し上げます。

図書館充実に協力頂いた方々



床面積は八四坪、内訳はピアノ・レッスン室十一下、ピアノ・レッスン室一二、階段式教室(八十名収容)が一つで、これは主に音楽教室として使用されます。五月末現在で、コンクリート部分の工事が完了しました。

建坪は、一四四坪、延床面積は、五〇坪で、四坪余りの十部屋あります。これで、クラブ活動は、それぞれの部屋が割りあたられました。

2、二号館四階増築について
3、三号館新築について

この建築内訳は、一階に四〇名収容の教室三つと同じ広さの教務部の事務室そして、中二階に医務室が準備されています。二階の内訳は、八〇名収容の大教室二つ、これは、アコディオン・ドアで仕切られていますので、それを開けば二〇〇名収容のものとして使用出来ます。その外、四〇名収容の小教室一つ、現在、基礎工事の大部が完了し工期は今年の十月末となりました。これらの校舎が全部完成した時点で校舎基準の八二%の達成率です。

3、三号館新築について

床面積は八四坪、内訳はピアノ・レッスン室十一下、ピアノ・レッスン室一二、階段式教室(八十名収容)が一つで、これは主に音楽教室として使用されます。五月末現在で、コンクリート部分の工事が完了しました。

建坪は、一四四坪、延床面積は、五〇坪で、四坪余りの十部屋あります。これで、クラブ活動は、それぞれの部屋が割りあたられました。

2、二号館四階増築について
3、三号館新築について

この建築内訳は、一階に四〇名収容の教室三つと同じ広さの教務部の事務室そして、中二階に医務室が準備されています。二階の内訳は、八〇名収容の大教室二つ、これは、アコディオン・ドアで仕切られていますので、それを開けば二〇〇名収容のものとして使用出来ます。その外、四〇名収容の小教室一つ、現在、基礎工事の大部が完了し工期は今年の十月末となりました。これらの校舎が全部完成した時点で校舎基準の八二%の達成率です。



学生部より

一連の連絡
を密にするこ
とによって全
体的な交流の
場をつくる案
を立て、今年
度から実施し
ています。こ
の案に対し、
学生会側から
若干の誤解も
ござりますが、
交りを深めていく
段階で解消することと思いま
す。

（一） グループの運用の仕方には色々
あると思いますが、先ず学生一人
一人の意志を大切にし、対話を深
めいくものでなければならない
と思いますし、教師もメンバーの
一人として、多くのものを学んで
いく姿勢でのぞみたいと思いま
す。特に沖縄という現実にある当
短大の存在意義を十分に探ぐる
ことのできる場にしていきたいも
のです。

（二） キャンプ

毎年後期の始年に全学生による
二泊三日と、一度のキャンプで交
わされたのですが、二〇〇人を越す
頃から二回に分けて行なわなければ
ならなくなり、全体的な交わり
が深まっています。おそらく学校行事の
中で、学院祭と並ぶ最も深い交
わりの場ではないでしょうか。

（三） 図書館

七〇年の三月、学校予算を検討す
る段階においてで、去る五月十五日の復帰時を目
標に沖縄をはじめ、本土の各キリ
スト教団体及び個人に本の寄贈や
献金等を呼びかけてまいりました
皆様の温い御理解と御協力の
おかけで、総冊数にいたしまし
て、文部省の唱える基準冊数にや
つと達することが出来、何とか大
学図書館としての形をととのえる
ことができました。どうも有り難
いございました。しかし、人文
社会を除いて各項目（保育、英
語、自然科学）ごとにみますと、
まだ六千冊不足です。特に自然科
学系の本が思うように入手出来ま
せん。この記事をお読みの方で
ゆずつていただけるような自然科
学に関する本をお持ちでしたら、
御協力の程宜しくお願ひ致しま
す。

（四） 学生部設置

最初は各学科各クラス（十五
人）程度で、学生総数約七
〇人と八〇人であります。した
がって学生相互、教師と学生間の
交りは家庭的で深いものがあり、
交りの中で形成される全人教育的
内容は他に見られない特色であり
ました。

（五） グループ会について

当短大は少數教育を目標に創設
されました。

（六） 沖縄キリスト教短期大学の「沖
縄」の正しい理解。当短大が沖縄
とあります。

（七） 学生サークル活動

当短大にはいくつかの学生サー
クルがあります。

（八） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（九） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（十） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（十一） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（十二） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（十三） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（十四） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（十五） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（十六） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（十七） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（十八） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（十九） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（二十） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（二十一） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（二十二） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（二十三） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（二十四） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（二十五） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（二十六） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（二十七） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（二十八） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（二十九） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（三十） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（三十一） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（三十二） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（三十三） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（三十四） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（三十五） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（三十六） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（三十七） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（三十八） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（三十九） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（四十） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（四十一） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（四十二） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（四十三） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（四十四） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（四十五） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（四十六） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（四十七） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（四十八） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（四十九） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（五十） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（五十一） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（五十二） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（五十三） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（五十四） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（五十五） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（五十六） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（五十七） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（五十八） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（五十九） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（六十） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（六十一） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（六十二） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（六十三） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（六十四） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（六十五） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（六十六） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（六十七） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（六十八） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（六十九） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（七十） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（七十一） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（七十二） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（七十三） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（七十四） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（七十五） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（七十六） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（七十七） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（七十八） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（七十九） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（八十） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（八十一） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（八十二） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（八十三） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（八十四） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（八十五） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細分化し、学生教師
間の交りの場をつくり、更にグル
ープ会ではあります。

（八十六） 教授会では、各科別にいくつか
のグループに細